



第 2 1 期 生 卒 業 式

108名の卒業生が立派な姿で学び舎を巣立ちました。部活動、生徒会活動、修学旅行、運動会、精華祭、合唱コンクール、そして普段の何気ない学校生活。これまでの三年間はあっという間に過ぎたかもしれませんが、思い出や経験がたくさん詰まった三年間だと思います。楽しかったことばかりではないでしょうが、東中での経験が心の成長につながったはずです。

この一年、どのクラスも全員が真剣に学習している様子、自分の役割を確実に果たそうとする姿、下級生をリードする姿がたくさんありました。中学校生活で様々なことを学び、大きく成長した証^{あかし}は卒業証書を受け取ったときの自信に満ちあふれた眼差しに表れていました。

この先の道のりには、これまでにないくらいの喜びや幸せが待っているはずですが、時には、大きな悩みや深い悲しみが訪れるかもしれません。人生にはさまざまな出来事がありますが、困難なことから逃げ出すことなく立ち向かったり、困難なことを避けてあえて回り道をしたり、自分なりの人生を歩んでほしいと願っています。

これから歩む道のりは、今はまだはっきりと見えないかもしれませんが、これから一生涯、自分がなりたい姿を常に追い求めながら、周りの人の支えに「ありがとう」の気持ちを忘れずに、より力強く進んでください。四月から始まる新しい生活により、みなさんが一層飛躍していくことを祈念します。

在校生送辞から

卒業生の皆さんが残してくれた伝統を引き継ぎ、22年目の本荘東中学校中を創っていきます。東中に刻まれる新たな歴史がさらに輝けるものとなるよう、「東の志 とうし」を燃やし続け、「日本一通いなくなる学校」となるよう、在校生一同頑張っていきます。

卒業生の皆さん。これから進むそれぞれの道に、たとえ困難が待ち受けていても、東中で仲間と過ごした「かけがえのない日々」を、前へ進むエネルギーへと変え、突き進んでください。

卒業生答辞から

私たちの一番近くにいてくれたお父さん、お母さん、家族のみんな。どんなときも、そばにいてくれたことが心の支えになりました。家族だからこそ、素直になれない時もありましたが、今は、心から「ありがとう」を伝えます。

在校生の皆さん。たくさんの思い出をありがとうございました。四月からも、その明るさと元気で新入生と共に、さらに東中を彩ってください。応援しています。



卒業証書授与

祝辞 PTA 会長 高橋 修様

送辞 鎌田莉緒さん

答辞 佐々木将孝さん



卒業の歌『旅立ちの日に』